

2017年度の活動報告

主要行事

(1) 第44回年次総会の開催

2017年4月21日(金) 18:30～22:00 @理窓会倶楽部サロン。出席者(敬称略、五十音順)は今井、加藤、神田、黒田、小泉、小久保、小林一、小林文彦、鈴木、田中、中沢、中島、福田、藤村、松本、湊、山下の17名であった。1年間の試行期間を経て、キャリア開発事業が本格的に開始された。外部への発信力を強化するために、SRID Facebookを立ち上げるようになった。

(2) 新年会

2018年1月25日(木) 18:30～21:00 @理窓会倶楽部サロン。出席会員(敬称略、五十音順)は天谷、今井、加藤、神田、黒田、小林_文、高橋、田中、中沢、中島、萩原、藤村、松本、湊、山下の15名の他、JICA若手職員の三澤真美氏が参加してくれた。歓談の後、1等賞品のワインを除いて、幹事が持ち寄った不用品を賞品とするビンゴゲームを楽しんだ。

(3) 暑気払い

2017年8月に2回の懇談会を開催したため、暑気払いは中止した。

懇談会

- ・ 下記8回の懇談会を開催した。参加者総数185名、うち非会員86名。懇談会のテーマは多岐に渡っており、学生から国際開発のベテランまで毎回多くの参加者があった。
- ・ 懇談会後にはネットワーク懇親会を行い、登壇者・SRID会員・非会員参加者間の交流を促進した。その結果キャリア開発塾の申込者や新規SRID会員の増加に繋がった。(小林_文)

第1回懇談会

5月16日(火) 15:00～17:00 @理窓会倶楽部サロン。講師はオリエンタルコンサルタンツグローバル理事の泉泰雄氏。テーマは「国際社会で活躍できる若手を育てるキャリア開発指導法について」。参加者は10名(うち非会員1名)。

第2回懇談会

6月13日(火) 19:00～21:00 @JICA市谷ビル2階大会議室。講師は前田充浩 産業技術大学院大学教授。テーマは「金融地政学(Financial Geopolitics)への招待 ～ 開発金融のあり方は「軍縮レジーム」と「新興国叩きレジーム」で決まる」。参加者は28名(うち非会員16名)。

第3回懇談会

8月1日(火) 19:00～21:00 @JICA市谷ビル2階大会議室。講師は仲浩史 世界銀行副総裁。テーマは「世界銀行の監査」。参加者は29名(うち非会員19名)。

第4回懇談会

8月10日(火) 19:00～21:00 @JICA 市谷ビル2階大会議室。講師は福田パー咲子 The New School 大学教授。テーマは「SDGs: redefining the ‘development’ project」。参加者は35名(うちAbe Initiative 留学生6名)。

第5回懇談会

9月5日(火) 19:00～21:00 @JICA 市谷ビル2階大会議室。講師は前 JICA 理事の小寺清氏。テーマは「MDB の将来」。参加者は30名(うち非会員20名)。

第6回懇談会

10月3日(火) 19:00～21:00 @JICA 市谷ビル 601/602 号室。講師はJETRO 水戸事務所の西川壮太郎所長。テーマは「輸出で地域を元気に:茨城県の事例」。参加者18名(非会員9名)。

第7回懇談会

12月12日(火) 19:00～21:00 @JICA 市谷ビル2階大会議室。講師は小泉尊聖(たかきよ)会員(シリア和平ネットワーク)。テーマは「We exist-シリア市民社会からの叫び」。参加者は16名(うち非会員7名)。

第8回懇談会

3月13日(火) 19:00～21:00 @JICA 市ヶ谷ビル 601/602 号室。講師は中沢賢治会員。テーマは「国際機関(UNIDO、EBRD)の現場から眺めた冷戦終結後の欧州の動きについて」。参加者21名(うち非会員10名)。

ニューズレター

2017年4月号 No. 476

自論公論 今井正幸 「豊洲市場問題に露呈した日本の意思決定の怪異」

2016年度第4回懇談会報告 神田道男 「源由理子氏:参加型評価について」

第44回年次総会報告 山下道子 議事録、別紙「キャリア開発事業の実績と計画」

2017年6月号 No. 477

自論公論 小林文彦 「Project Financing実務者から見た新興国PPPインフラ事業促進策」

旅の千夜一夜物語 12 湊直信 「予期せぬ大歓迎！」

第1回懇談会報告 中沢賢治 「泉泰雄氏:国際社会で活躍できる若手を育てるキャリア開発指導法について」

2017年7月号 No. 478

第2回懇談会報告 小林文彦 「前田充浩氏:金融地政学(Financial Geopolitics)への招待」

サロン・エカポール報告 小久保和代 「アフリカの企業家育成の課題」

随想 山下道子 「Banana Boat Song」

2017年9月号 No. 479

自論公論 神田道男 「日本の援助の歴史と中国の援助」
旅の千夜一夜物語 13 中沢賢治 「タイ・ミャンマー国境への旅と読書」
第3回懇談会報告 小林文彦 「仲浩史氏:世界銀行の監査」
第4回懇談会報告 加藤珠比 「福田パー氏:SDGs:Redefining‘Development’Project」

2017年10月号 No. 480

自論公論 今井正幸 「またぞろ役人の天下りへバッシング--その罪と罰」
第5回懇談会報告 小林文彦 「小寺清氏:MDBの今と将来」
第6回懇談会報告 藤村建夫 「西川壮太郎氏:輸出で地域を元気に:茨城県の事例」

2017年12月号 No. 481

出張報告 中沢賢治 「産業技術大学院大学・APEN中央アジアミッションの報告について」
旅の千夜一夜物語 14 小久保和代 「インドネシアでの不思議な縁:楽しさと悲しさ」
会員便り 福田幸正 「ミャンマーからの絵葉書」
三上サロン開催報告 黒田次郎 「菊地会員を囲んで」
キャリア開発事業の現場から 藤村建夫 「プレゼンテーション・ワークショップ」

2018年2月号 No. 482

自論公論 尾村敬二 「資本主義と民主主義を考える」
旅の千夜一夜物語 15 小林文彦 「ラクダに乗ってもらったボーナス」
第7回懇談会報告 山下道子 「小泉尊聖会員:We exist-シリア市民社会からの叫び」
新年会開催報告 山下道子 会長挨拶、近況報告など

SRID ジャーナル

(1) 編集委員会の開催

2017年度の企画・編集は藤村建夫委員長以下、浅沼信爾、高橋一生、福田幸正、湊直信、山岡和純の6名が担当し、中島千秋が事務局を務めた。編集会議を5月18日、7月13日、10月20日、12月19日の4回開催した。

(2) 第13号及び第14号の発行

- ・ 第13号は「国際開発人材の養成」を、また第14号は「これからの国際教育協力」を特集のテーマとし、それぞれ7月と1月に発行した。現在、会員以外のジャーナル登録読者数は291名である。(中島)

キャリア開発事業

(1) 運営委員会

中沢賢治委員長以下、藤村建夫、神田道男、敦賀和人、小林文彦の 5 名が運営方針を決定し、事業の計画、実施、宣伝などを担当している。

(2) 事業の実施

- ・ 出張講座、カウンセリングともに多くの実績が上がり、事業が定着しつつある。
- ・ 実施件数をカウントして実績総括表を作成し、4 半期ごとに幹事会に報告を行うこととした。実績の検討を通じて事業の質の向上を目指す。
- ・ 新たに「他の組織との連携」という事業カテゴリーを設け、大学のゼミや学生団体のイベントなどへの参加も含め、事業活動の幅を広げていく。(中沢)

(3) 学生団体支援金

- ・ 国際協力活動を行っている 2 団体から助成金申請があった。審査の結果、「MIS」を助成団体に選定し、2017 年 12 月に 10 万円を支給した。MIS は 2011 年に東京大学の学生を中心に設立された NPO 団体で、カンボジア・ベトナム・フィリピン・ミャンマー・インドネシア・インド・マレーシアなど計7か国の東南・南アジア各国の学生とともに、年 1～2 回ほどのペースでプロジェクトを実行している。加えて、“Experience Japan”という日本で行う国内研修と複数国からの参加者が参加する海外研修 ”Multilateral Project (MP)”がある。
- ・ 日常活動は、プロジェクトチーム毎に年 30 回ほどのミーティングを行い、プロジェクトの準備を進めるほか、プロジェクトを円滑に進めるためのマネジメント手法の学習などを行っている。2017 年度の活動概要は次頁の表を参照されたい。
- ・ 藤村は MIS 活動の二つの活動報告会(ミャンマーと MP)に参加し、その成果について報告を受けた。海外での国別活動は春か夏に行われるため、年度の全体報告は 5 月頃に取りまとめられる。SRID が今回支出した助成金は 2018 年 8 月に実施される日本での研修事業に充当される予定である。2017 年度は同事業に約 110 万円が支出されている。
- ・ 報告会に出席して感じたのは、藤村がかつて研修を実施した PCM 手法の問題分析を活用しているが、プロジェクトを導く過程は単純化されており、問題分析の内容がやや弱く、プロジェクトの選択に際し、現実性に問題があると感じられる。このため、2018 年 4 月中旬に MIS の幹部と方法論について改善策を検討し、助言することになった。(藤村)

2017 年度 SRID キャリア開発事業実績

活動内容	活動状況		支援対象
	件数	受講者数	
1. 出張講座	19	511	上智大学、早稲田大学他
2. 能力開発・向上研修	5	65	国際学生会議、法政大学他

3. カウンセリング	20	27	国際機関志望者他（学生 15 名、 社会人 12 名）
4. 国際機関職員支援	2	2	地域開発機関職員他
5. 学生団体活動支援	1	--	NPO 法人 MIS（活動概要参照）
6. 他の組織との連携	7	--	産業技術大学院、FASID 他

サロン

(1) サロン・エカポール

7月6日(木)19:00～21:30 @藤村会長宅 在日コートジボワール人協会会長のサコ・ランシネ氏、ABE Initiative 留学生で足利工業大学大学院に留学中のチボ氏、シレンゴ氏をゲストに、小久保和代会員を加えた5名が、手巻き寿司体験をしながら「アフリカの起業家育成の課題」について語り合った(小久保)。

(2) 三上サロン

10月25日(水)19:00～21:00 @三上会員宅 ワシントン在住の菊池会員の帰国を機に三上、菊池、今井、水上、黒田の5名が集まった。国内外の時事問題に始まり、国際関係や援助の在り方にまで話が及んだ(黒田)。